

学校支援を積極的に進める

地域とともに子どもの成長を支援するPTA活動

美浜町立奥田小学校PTA

1 はじめに

本校は知多半島南部、知多郡美浜町の西海岸に位置している。校区は遠浅の美しい海岸や自然豊かな里山に囲まれており、南知多ビーチランドや海水浴場には、毎年多くの観光客が訪れている。また、校区には私立大学と附属高等学校が立地しており、連携した教育も実施している。令和5年度の児童数は127名、学級数は10（特別支援学級4含む）の小規模校である。校訓「楽しく 仲よく 明るく 元気よく」のもと、学校・PTA・地域が連携して教育活動を進めている。



【奥田小学校の校舎】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、「父母と教師とが協力して家庭と学校と社会における児童の幸福な成長を図ること」を目的として活動している。本校卒業生の保護者や祖父母が多く、三世同居や祖父母が近所に住んでいるという家庭も多く、学校教育への関心が高い地域である。そのため、PTAが学校と家庭、地域とをつなぎ、互いの思いを共有することで、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支援することができると考えている。

そこで、「子どもの安全を守る活動」「学びの環境を整備する活動」「ふるさとへの愛着を育む活動」「地域と連携した活動」を4つの柱とした実践に取り組んだ。

(2) PTAの組織

P T A 総 会	P T A 委 員 会	【役員会】4名 会長1名、副会長2名（書記・会計各1名兼任）、子ども会育成部長1名	学 年 委 員	6年4名
		【各委員会】9名 総務部2名、厚生部2名、文化部2名、子ども会育成部3名		5年3名 4年2名 3年1名 2年1名 1年1名
	P T A 会 員			

* 学年委員を選挙で選出し、会長・副会長・書記・会計を互選する。

* 残りの学年委員を各委員会に配属する。

3 実践活動の概要

(1) 子どもの安全を守る活動

児童の登校時の安全を見守るため、毎月「8」の日に、校区の6か所の交差点で交通当番活動を実施している。全世帯が当番活動に参加し、年間を通して児童の安全を見守っている。

また、年度初めには、通学路の危険箇所「止まれ」の足形を設置している。この作業にあたり足形の設置箇所を学校側と相談することで、危険箇所を互いに確認し、把握することにもつながっている。



【登校の様子】

(2) 学びの環境を整備する活動

① P T A 除草作業

普段は職員やシルバー人材センター、地域のボランティアが校地内の草刈りに取り組んでいるが、夏休みの全校出校日にあわせてP T Aも除草作業を実施している。子どもたちが通う学校の環境に目を向けるよい機会となっているほか、自分たちで整備することで愛着をもつことにもつながっている。P T Aの行事ではあるが、多くの地元住民の方が「子どもたちのために」とご厚意で参加してくださっている。



【除草作業】

② 資源物回収

1学期末の個人懇談会に合わせて、資源物の回収を実施している。子どもたちが資源物の有効活用について考える機会として、また地域とのつながりを意識できる機会として位置づけている。「紙類」「布類」「ビン類」「カン類」を対象とし、地域住民にも回覧板を活用して協力を呼びかけている。



【資源物回収】

保護者がより参加しやすいように懇談会に合わせた日程に変更したり、地域の方の搬入のしやすさや児童の動線や安全を考慮して回収場所を変更したりして、少しでも多くの方が参加してくださることを目指して取り組んでいる。

また、別途年間を通してアルミ缶の回収に取り組んでいる。児童に持たせたり保護者が直接回収場所に持ち込んだりしている。

これらの収益は児童や保護者に還元できるように、環境整備等で有効に活用している。

(3) ふるさとへの愛着を育む活動

親子で自然に触れる活動を通して、ふるさとへの愛着をもたせることを目標に、地元が誇る遠浅の海岸を活かした「浜遊び」を実施した。

令和4年度までは後述する奥田地区青少年を守る会の「ハイキング」と同時開催としていたが、より充実したプログラムを目指して、PTA子ども会育成部の単独開催に変更した。

今年度は、浜に多く生息するハマグリ
の潮干狩りをメインとするプログラムを実施した。地元の漁業協同組合の協力を得て、浜の一部を貸し切って行った。漁協の職員から、海に住む生き物を教わり、子どもたちは興味津々の様子だった。また、エイやクラゲなどの危険な生き物についての説明や浜遊びの注意点についても教わった。その後、親子で思い思いに活動し、楽しそうに笑い合う微笑ましい姿がたくさん見られた。また、「生き物の重さ選手権」を開催し、できるだけ重い生き物を探して、その重さを競い合った。浜に生息する様々な生き物を見つけ、驚いたり、喜んだり、面白がったり、不思議がったりと、生き生きとした表情をたくさん見ることができた。

終了時には、参加者全員で海岸清掃を行い、「来たときよりも美しく」を合い言葉に、感謝の気持ちを込めて取り組んだ。獲ったハマグリはお土産として持ち帰った。

この日の夕食時、家族で話題に上がった家庭も多かったようである。家族や友達とのコミュニケーションを深める機会、ふるさとのよさを感じ取る機会として、充実した半日となった。



【親子で仲良く潮干狩り】



【生き物の重さ選手権】



【海岸清掃】

(4) 地域と連携した活動

自治区関係者、保育園・小学校・中学校のPTA、地元高等学校、民生児童委員、観光協会など、幅広い団体の代表者で組織する「奥田地区青少年を守る会」と連携し、次の3点に取り組んだ。

① あいさつ運動

夏・秋・冬の交通安全運動期間に、あいさつ運動を実施している。回覧板で全世帯に広報することで、青少年を守る会委員のほか、近隣住民の自主的な参加もあり、地域全体で子どもたちを守るという意識の啓発につながっている。

② 三世代ラジオ体操

夏休みに1週間実施している。回覧板で地域に広報し、幼い子どもから祖父母まで、幅広い年齢層が早朝に集まって、元気に体を動かしている。中学生も多数ボランティアで参加している。

昨年度までは夏休み第1週目に実施していたが、今年度は最終週に実施し、2学期の始業式に向けて生活リズムを整える機会としても位置付けた。また、地区ごとの会場で開催する形から小学校1か所での開催に変更し、地域全体としてのつながりを感じられるようにした。



【三世代ラジオ体操】

③ ハイキング

奥田小学校の校区内にハイキングコースを設定し、地元の方の参加も募って実施している。校区に残る里山を巡るコース、遠浅の美しい海岸へ向かうコースなど、その年々に工夫して実施している。

令和3・4年度は前述のPTA行事と同時開催し、学校から海岸までハイキングを行い、海岸でPTA行事「浜遊び」を実施したあと、再びハイキングで学校まで戻るという内容で実施した。今年度はハイキング単独で実施することとし、季節を感じながら実施できるよう、現在準備を進めている。

4 おわりに

少子化により、本校においても児童数、世帯数の減少が続いている。そのため、PTA組織や行事のスリム化を図るとともに、青少年を守る会や各自治区等との連携によって、PTAの手薄な部分を補い、児童の健やかな成長を見守ることができるように活動を工夫してきた。

美浜町では、現在の2中学校、5小学校を統合し、小中一貫校とする計画が進んでいる。各地域で異なる文化や特色、さらには現在の各小中学校の特色をどのように融合して新たな形を作っていくかなど、検討が必要な事柄が山積している。今年度は統合後を見越し、前述の「浜遊び」を3小学校が同日に実施した。学校ごとでの開催とはなったが、統合に向けた第一歩になったと感じている。

学校の統合において、地域間の協力と共通理解は欠かせない。学校と地域、さらには地域間をつなぐ存在として、PTAの役割は非常に大きい。統合までにはできることは何か、学校や地域のよさを残すにはどうしたらよいか、今後も学校や地域と連携して、子どもたちの成長のために活動していきたい。